



発行 党会
日本共産党
春日部市委員
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

負担軽減、住宅リフォーム助成など

くらしと営業応援の市政を

9月議会で審議中の一般会計決算について、並木としえ議員は市の財政状況などについて質疑しました。

市民所得は

県平均より33万円低い

令和元年度は、市民税の納税義務者が前年度より554人増加し、一人当たりの所得は308万円から310万円に増加しました。しかし、県平均は県民一人当たりの所得が約343万円で、県平均より約33万円も少ないことが明らかになりました。

一方、国からの交付金(地方交付税)は前年より約8億4千万円増え、88億1300万円

で引き続き県内トップです。また、市の借金は総額約678億円ですが、国から補填される金額を差し引いた実質的な借金は平成30年度の約161億円から9億円減って約152億円となり、年々減少しています。

このことから「春日部市の財政は健全で、市民要求実現の財源は十分ある。県内他市よりも市民所得が低い中、昨年10月の消費税10%増税が市民のくらしと営業に深刻な影

響を及ぼしている。今、市政の最優先課題は、市民負担の軽減と住宅リフォーム助成など市内業者の仕事おこしで、くらしと営業を応援すること」と主張しました。

職員を増やし

市が直接運営を

昨年は、市職員の残業代未払が大問題となりました。この問題の根底には、県内で一番職員数が少ないという職員不足があります。

春日部市は職員一人当たりの市民数が280人ですが、これ県平均は223人です。これは、本来市が直接運営すべき保育所、図書館、学童保育などを、次々と民間事業者などに委託する指定管理者制度の導入や、臨時職員や嘱託職員の常用など、経費節減と効率優先で市民サービスが低下していると言わざるを得ません。

並木としえ議員は「公務員は全体の奉仕者であり、民間企業は自社の利益を生むことが仕事。市民サービスは公務員の本来の仕事であり、経費節減のために保育・教育・福祉を利潤の対象にすべきではない」と、市職員を増やし、市が直接責任を持つよう強く求めました。

ジェンダー平等へ

女性管理職の登用を

課長補佐級以上の管理職に占める女性の比率はわずか8.4%で県内39市中36番目という低さです。さいたま市を除く39市で最も女性管理職が多く登用されている市では、26.9%で4分の1以上が女性です。「ジェンダー平等社会をめざし、政策決定に女性の視点、女性の声が反映されるよう管理職に積極的に登用を」と求めました。

利潤追求の株式会社は問題

ふじ学園・八木崎保育所の指定管理を質疑

8月27日、うづき武彦議員は、指定管理者の指定（ふじ学園と八木崎保育所の運営を株式会社コマームに指定）について質疑しました。

来年4月にふじ学園・八木崎保育所オープン

来年4月にふじ学園と八木崎保育所の複合型施設がオープンします。ふじ学園は就学前の障害児を療育する施設で牛島から移転、八木崎保育所は新設です。

6月議会で運営を指定管理者に任せることができるとして、条例改正が賛成多数で可決されました。日本共産党は市が直接運営し充実した療育・保育を行うべきとして

反対しました。

指定管理者を公募した結果2団体の応募があり、内容が優れているとして（株）コマームを指定することが提案されています。

充実した職員配置で

きめ細かな保育・療育を

選定理由の中で、「効率的な人員配置」があげられています。提案された職員数は、コマームがふじ学園40名と八木崎保育所28名、採用されなかった団体はそれぞれ52名と30名です。うづき議員は、効率的な職員配置ではなく、充実した職員配置できめ細かく丁寧な対応こそ求められると主張し

ました。

特に、ふじ学園の児童発達支援に必要な保育士と児童指導員は20名です。コマームは常勤16名と非常勤7名で賄うとしています。その他、デイサービスと訪問支援にそれぞれ2名が必要ですが、児童発達支援との兼務となります。これでは不十分ではないかと質しました。部長は「基準を満たした適正な配置」と答えました。

株式会社は利益を得ることが最大の目的です。サービスが向上したからと言って指定管理料が増えるわけはありませんから、利益を上げようとする人件費などの経費を抑える必要があります。その結果、職員待遇が悪くなり、優秀な職員が確保できないことや退職が多くなる恐れもあります。職員が頻繁に入れ替われば、子ども

たちがなじめず不安定になってしまいます。

常時必要な人員が確保され継続して雇用されていること、充実した療育・保育が行われていることなど、市がしっかりと確認する必要があります。

ふじ学園で重症心身障害児も受け入れ可能

これまでのふじ学園では、医療的ケアが必要な重症心身障害児の受け入れはできませんでした。新たなふじ学園では、そうした児童の受け入れを行うことができるのか質しました。

部長は「常勤看護師を配置するなど国基準を満たした人員配置となっているので、重症心身障害児も受け入れが可能」と答えました。

救急電話相談#7119

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外

9/6(日) ほそや内科医院(内科系) 下大増新田 Tel.733-5200
Tel.760-2300 原田皮膚科医院(外科系) 大倉 Tel.746-7770

豊春内科小児科クリニック(小児科系) 上蛭田

9/13(日) 有賀内科クリニック(内科系) 中央1 Tel.760-2703
みやざわ耳鼻咽喉科(外科系) 中央1 Tel.745-8733

あゆみクリニック(小児科系) 大枝 Tel.731-3283